

令和元年度

3年生学習定着度に関する調査結果について

本年度は7月に「令和元年度学習定着度に関する調査」が実施されました。その結果とそれを受けた取り組みについてお知らせします。

調査の目的は、児童生徒の学力の状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育の成果と課題を明確にし、学力向上の取り組みを充実させることにあります。

○…よかった項目 ●…課題があった項目

【 算数：福岡市平均と同程度である 】

- ◎ 数量や図形についての知識・理解
- 数学的な考え方

福岡市の平均と比較すると、「同程度」に分類されています。特に、数量や図形についての知識・理解の点は力がついています。

「かけ算の分配法則」や「倍の意味」については正しく理解し、計算ができている児童が大変多くなっていました。

一方、「かけ算・わり算」の基本問題に間違いが多く、慌ててしまい簡単な足し引き算を間違ってしまう等のケアレスミスが目立ちました。また、文章題では答えとして何を尋ねられているかが理解できていない児童も見られました。

今後は、学習したことを忘れないよう、定期的に前の学習を振り返ることと、文章問題の読み取りに慣れることを指導していきます。